



九州區

福岡	九四、四九・八	二、〇三、〇〇〇	△	一、五五・二	△	八、一〇九	△	七、三二一
佐賀	五〇、五六・八	九四、六六〇	△	三、三〇七	△	一五、六六六	△	三六、五五二
長崎	二八、九〇・七	三、七、一五〇	△	二、九〇四	△	六、〇〇〇	△	一五、〇六八
熊本	七四、三三・二	一、四〇、八六〇	△	二、九七・〇	△	一、四、〇〇四	△	三九、七三〇
大分	五、一六七・九	八四、三四〇	△	八、六・一	△	一五、一七五	△	三九、七六四
宮崎	四、四四・四	三、〇、〇〇〇	△	二、八七・一	△	三、五七九	△	四、七三三
鹿兒島	七、一〇六・四	九〇〇、〇〇〇	△	三、九七・四	△	一、八、三三〇	△	二〇、八八五

ては農林省及大藏省協議の上之を決定す、尙最近

に於ける急速軍備擴充の爲買上又は寄附に係る土地にして特に前所有者より返還の要望ある場合は取得當時の事情をも勘案し當人に於て自作するを適當とするものに附ては前所有者への還元を認む、但し之が還元に當りては當該地區全體の開發利用計畫の一環として之を實施し換地等の方法に依ることあり

(四) 所要勞力 開墾作業の所要勞力は延約十一億七千二百三十萬人にして年度勞力數は左の通りとす(第一表参照)

(五) 増産目標 開墾地には米、麥、豆類、雜穀、薯類等主要食糧作物を栽培し左の増産目標の達成に努むるものとす(第二表参照)

◇干拓

一、干拓面積 干拓面積は約十萬町歩(湖面干拓七五萬町歩、海面干拓二・五萬町歩)とし概ね六ヶ年を以て完成す

二、事業主體 干拓事業は原則として國營又は縣營に依ることとし公共的に行ふ民間事業をも勸奨す。

三、所要勞力 干拓事業の所要勞力は延約四億人にし

て年度割勞力數は左の通りとす。(第三表)

四、増産目標 干拓地には米、麥等主要食糧作物を栽培するものとし、數年後に於ける干拓地熟地化の場合に於て左の増産目標の達成に努む

米、二百萬千石、麥、卅四萬石  
(豫定地)八郎瀉、霞浦、印旛沼、琵琶湖、濱名湖、有明灣、渥美半島

◇土地改良

一、土地改良實施面積 客土、機械排水、耕地整理、畑地灌溉等を根幹とする土地改良事業實施面積は約二一〇萬町歩とし概ね三ヶ年を以て完成す

二、事業主體 干地改良事業は都道府縣市町村、地元農業會、又は耕地整理組合をして施行せしむ

三、所用勞力 土地改良事業の所要勞力は延約三、九〇〇萬人として毎年の所用勞力數は一、三〇〇萬人とす

四、増産目標 土地改良事業の實施に依り米、麥等主要食糧に付き左の増産目標に努むるものとす(第四表参照)

◇歸農計畫

一、歸農戶數 歸農戶數は一〇〇萬戶(内地八〇萬戶、

北海道二〇萬戶)を目標とし概ね五ヶ年間に入植せしむるものとす

二、歸農方法 歸農方法は健實なる自作農を創設する目標の下に集團地入植又は小園地入植をなさしむるものとし、集團地入植戶數約五五萬戶(内地三五萬戶、北海道二〇萬戶)、小園地入植數は約四五萬戶とす

三、一戶當經營面積 (一)集團地入植については内地(除東北地方)平均一町五反歩(差當り一町歩、將來の擴張豫定地、採草地等五反歩)東北地方平均二町五反歩(差當り一町五反歩、將來の擴張豫定地及び採草地等一町歩)北海道平均五町歩(農耕地三町五反歩、採草地等一町五反歩)とす、差當り集團地入植に充つべき土地は開墾地(集團地)約一〇五萬町歩及び干拓地約一〇萬町歩を豫定す、(二)小園地入植に付ては實情に即し適宜經營面積を定むるものとし地元小開墾面積五〇萬町歩の内より之に充つるものとす

四、農村工業及び副業の專入 終戦後の國情の變化に對應して農村と工業との緊密なる結合を圖るため積極的に農村工業の導入及び副業の開發等を行ふものとし且つ之に必要な職業輔導並に授産の創意的施設の樹立充實等に對し特別な考慮を爲す

措置

一、本事業の重要性に鏡み之に關する中央及地方の行政機構の整備を圖るものとす。

二、軍用地、國有林等の積極的利用を圖ると共に、開墾及干拓適地の迅速なる取得並に開拓事業實施手續の簡素化を圖る爲速に所要の法制的措置を講ず(参考Ⅱ軍用地、二十三萬町歩、國有林野、六十萬町歩)

三、本事業の施行に伴ひ道路、鐵道用水其他必要なる

施設を速に施行するものとす。

四、本事業施行上必要なる資材及輸送を優先的に確保す、開拓用機械及資材に充つる爲軍用車輛、其他の資材を又歸農者用として軍用纖維品其他の生活用品を成るべく大量轉用する様措置す。

五、本事業の急速なる進捗を爲るために一般民間關係者の土木、機械、電力關係技術の全面的活用を爲るものとす。

六、歸農者の生活安定を爲るため住宅の建設及び交通、衛生、教育施設の整備等に關する施策を優先的に取扱ふものとす。

七、本事業の迅速なる遂行を期するため農地開發營團の性格の變更及び農業會の機構の整備強化を爲るものとす、本事業に關係を有する中央及地方の各種團體等の協力を爲るため協力團體を結成するものとす。

八、本事業の施行に當りては北海道の地理的事情並びに立地條件を充分に考慮し全體計畫として完遂を期するものとす。

九、本事業達成に必要な經費に付速に豫算的措置を講ずるものとす。

緊急開拓事業實施要綱決定(附表)

(第一表) ◇開墾 (三)所要勞力

	延人員	實人員
第一年度	二五,九八,〇〇〇	一,二五,〇〇〇
第二年度	三〇,〇〇,〇〇〇	一,二五,〇〇〇
第三年度	三〇,〇〇,〇〇〇	一,三〇,〇〇〇
第四年度	三六,三三,〇〇〇	一,三三,〇〇〇
第五年度	二八,六四,五〇〇	一,四三,〇〇〇
計	一,五〇,〇〇,〇〇〇	一,五〇,〇〇,〇〇〇

(第二表) ◇開墾 (四)増産目標

米穀年度	米	麥	豆	類	雜穀ノ他	諸	類	計(米換算)
廿一年度	一	三	一	一	一	一	一	一
廿二年度	一七三	一	一	一	一	一	一	一七三
廿三年度	五〇〇	一	一	一	一	一	一	五〇〇
廿四年度	八八三	一	一	一	一	一	一	八八三
廿五年度	一,三六八	一	一	一	一	一	一	一,三六八
廿六年度	一,六六六	一	一	一	一	一	一	一,六六六
廿七年度	一,七六六	一	一	一	一	一	一	一,七六六
廿八年度	一,八八〇	一	一	一	一	一	一	一,八八〇
廿九年度	一,八八〇	一	一	一	一	一	一	一,八八〇
卅年度	一,八八〇	一	一	一	一	一	一	一,八八〇

【備考】今回ノ緊急開拓ニ依リ昭和二十一年度ニ於テ麥及諸類ノ増産ヲ擧グルコトトセリ。

(第三表) ◇干拓 (三)所要勞力

	延人員	實人員
第一年度	四〇,〇〇〇,〇〇〇	四〇,〇〇〇
第二年度	六〇,〇〇〇,〇〇〇	六〇,〇〇〇
第三年度	六〇,〇〇〇,〇〇〇	六〇,〇〇〇
第四年度	八〇,〇〇〇,〇〇〇	八〇,〇〇〇
第五年度	八〇,〇〇〇,〇〇〇	八〇,〇〇〇
第六年度	八〇,〇〇〇,〇〇〇	八〇,〇〇〇
計	四〇〇,〇〇〇,〇〇〇	四〇〇,〇〇〇

◇干拓年次計畫

	單位町歩
第一年度	一〇,〇〇〇
第二年度	一五,〇〇〇
第三年度	一五,〇〇〇
第四年度	三〇,〇〇〇
第五年度	三〇,〇〇〇
計	一〇〇,〇〇〇

(單位ハ千石、但シ諸類千貫)

(第四表) ◇干拓 (四)増産目標(單位千石)

米穀年度	米	麥	計(米換算)
廿一年度	四〇,〇〇〇	一,二四〇	一,二四〇
廿二年度	六〇,〇〇〇	一,二四〇	一,二四〇
廿三年度	六〇,〇〇〇	一,二四〇	一,二四〇
廿四年度	八〇,〇〇〇	一,二四〇	一,二四〇
計	四〇〇,〇〇〇	一,二四〇	一,二四〇

以降前段ニ同ジ

◇開墾年次計畫

内		地		北海道		合
集團開墾	小開墾	集團開墾	小開墾	集團開墾	小開墾	計
第一年度	一〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇
第二年度	一五,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一五,〇〇〇	一五,〇〇〇	一五,〇〇〇	一五〇,〇〇〇
第三年度	一五,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一五,〇〇〇	一五,〇〇〇	一五,〇〇〇	一五〇,〇〇〇
第四年度	三〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	一六〇,〇〇〇
第五年度	三〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	三〇,〇〇〇	一六〇,〇〇〇
計	一〇〇,〇〇〇	五〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇